

臨時開催 T O O 7	日本企業のための 中国特許・実用新案の実務 ～中国独自の審査と最新情報を紹介～
講座レベル ★★★	中国での権利化の落とし穴と成功のポイントとは？ 日中実務の違いをモデレータの解説によって徹底理解！
講師	温 剣（北京鴻元知識産権代理有限公司 弁理士、元 NTT データ（中国））
モデレータ	八巻隆博（日本特許データサービス(株) 知財研修部 部長、元住友金属工業(株) 知的財産部長）
日程・場所	東京会場
	2026 年 10 月 23 日（金）
時間	1 日間（10:00～16:00）
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access/
定員	東京会場 24 名（先着順申し込み）
受講料	22,000 円（税込 24,200 円）
対象	経営や企画と連携している知的財産関係者のマネジメントクラス以上
内 容	
<p>日本特許を基礎にした PCT 出願、中国移行後の権利化で壁にぶつかったことはありませんか？ 日本では通るはずの進歩性（創造性）が、中国では認められない・・・。 優先権が否定され、やむなく権利化を断念した・・・。</p> <p>さらに、中国実用新案との係争で思わぬ苦境に立たされたことはありませんか？ 本セミナーでは、日本企業がつまづきやすい『中国特有の制度』を徹底解説。中国の専門家によるリアルな講演と、日本人モデレータとの対話形式による解説で、日頃の「なぜ？」、「どうして？」に対して具体的に解き明かして行きます。</p>	
プログラム	
<p>第一部 中国特許（発明特許）の実務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許制度概要紹介 ・ 中国知識産権局の組織と運用（知識産権局と審査協力センターの体制） ・ 発明（技術方案）と特許性（特に創造性）について ・ 中国では認められにくい日本からの優先権主張出願 ・ 中国には間接侵害は無いのか?? ・ 懲罰的賠償制度の現状 <p>第二部 中国実用新案（実用新型特許）の実務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実用新案制度概要紹介 ・ 中国実用新案は無審査なのか?? ・ 無効審判の現状（創造性欠如による無効化は困難） ・ 権利活用は特許と同等なのか?? <p style="text-align: center;">質疑応答</p>	

【お申込み】

弊社ホームページよりお申し込みください。

URL: https://www.jpds.co.jp/ip_seminar/schedule/

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。